




Dell DR6000 システム はじめに

規制モデル: E14S Series
規制タイプ: E14S001



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2013 Dell Inc. 無断転載を禁じます。

本書に使用されている商標 : Dell™、Dell のロゴ、Dell Boomi™、Dell Precision™、OptiPlex™、Latitude™、PowerEdge™、PowerVault™、PowerConnect™、OpenManage™、EqualLogic™、Compellent™、KACE™、FlexAddress™、Force10™、Venue™ および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core® および Celeron® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標、AMD Opteron™、AMD Phenom™ および AMD Sempron™ は同社の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Internet Explorer®、MS-DOS®、Windows Vista® および Active Directory® は米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Red Hat® および Red Hat® Enterprise Linux® は米国および / またはその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Novell® および SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Oracle® は Oracle Corporation またはその関連会社、もしくはその両者の登録商標です。Citrix®、Xen®、XenServer® および XenMotion® は米国および / またはその他の国における Citrix Systems, Inc. の登録商標または商標です。VMware®、vMotion®、vCenter®、vCenter SRM™ および vSphere® は米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。IBM® は International Business Machines Corporation の登録商標です。

2013 - 12

Rev. A00

取り付けと設定

⚠ 警告: 次の手順を実行する前に、システムに付属の安全に関する注意事項をお読みください。

ラックシステムの開梱

システムを箱から取り出し、同梱品がすべて揃っていることを確認します。

レールの組み立てとラックへのシステムの取り付けの際は、システムに付属しているマニュアルの安全にお使いいただくための注意、およびラックへの取り付け手順に従ってください。

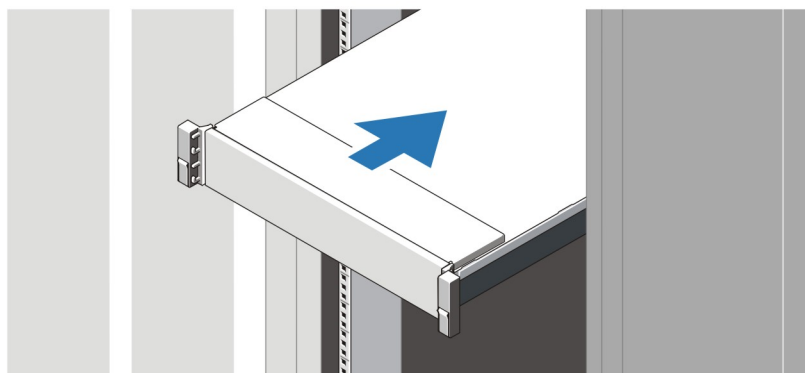


図1. ラックへのレールとシステムの取り付け

光学キーボード、マウス、およびモニタの接続

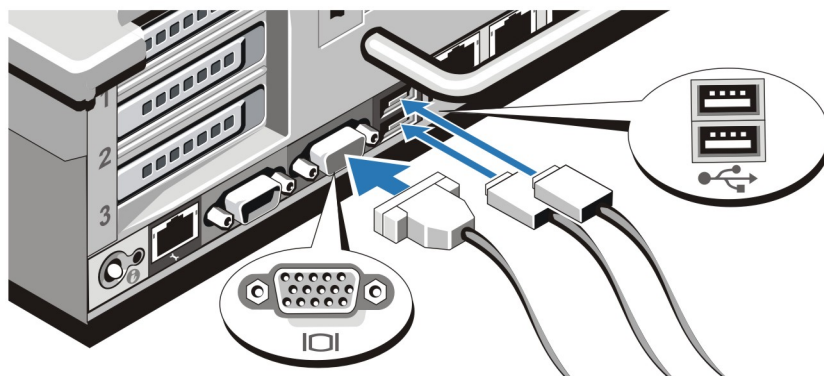


図2. キーボード、マウス、およびモニタの接続

キーボード、マウス、モニタを接続します（オプション）。

システム背面のコネクタには、どのケーブルをどのコネクタに接続するかを示すアイコンがあります。モニタケーブルのコネクタは、ネジがある場合にはネジをしっかりと締めてください。

電源ケーブルの接続

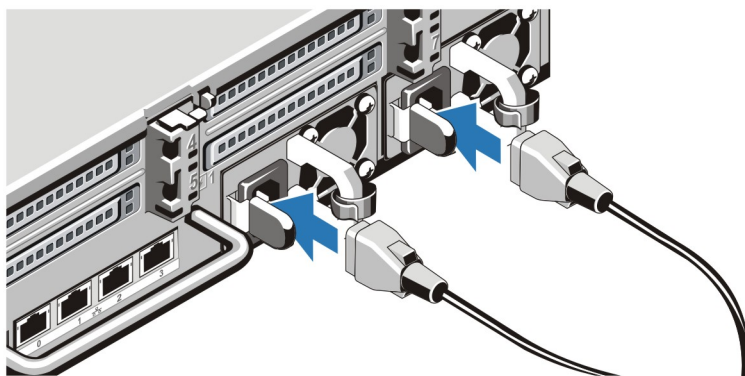


図 3. 電源ケーブルの接続

システムの電源ケーブルをシステムに接続し、モニタを使用する場合は、モニタの電源ケーブルをモニタに接続します。

電源ケーブルの固定

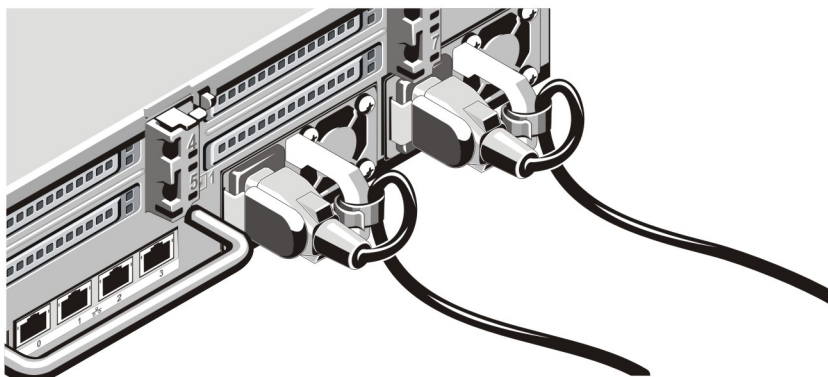


図 4. 電源ケーブルの固定

システムの電源ケーブルを図にあるように曲げ、ケーブルストラップに取り付けます。

電源ケーブルのもう一方の端を、アースされた電源コンセントまたは、UPS（無停電電源装置）や配電装置（PDU）などの別の電源に接続します。

システムの電源投入

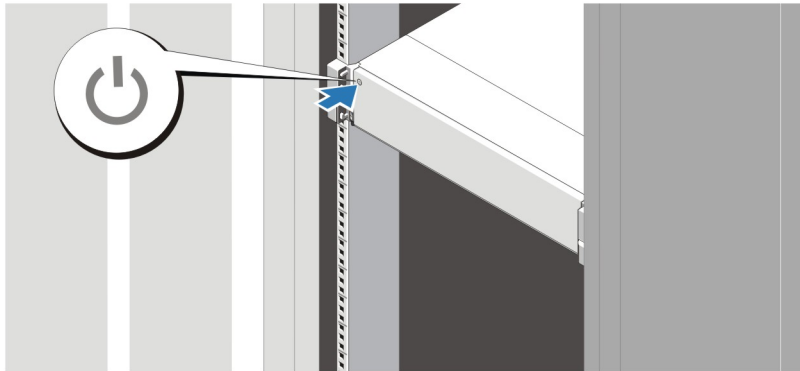


図 5. システムの電源投入

システムの電源ボタンを押します。電源インジケータが点灯します。

ベゼルの取り付け（オプション）

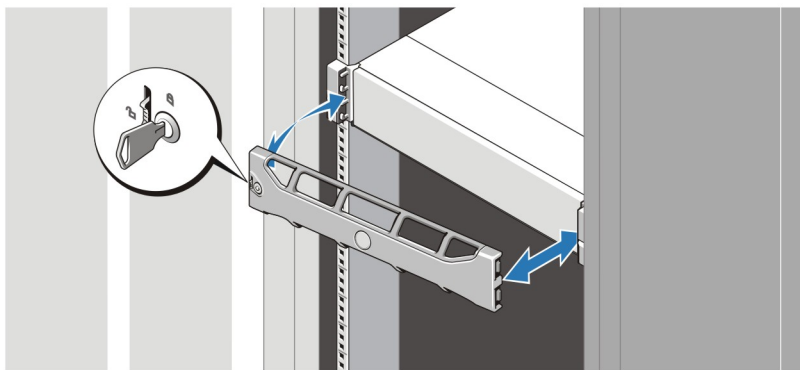



図 6. ベゼルの取り付け

ベゼルを取り付けます（オプション）。


Dell ソフトウェア製品ライセンス契約

このシステムをお使いになる前に、システムに付属する Dell ソフトウェア製品ライセンス契約をお読みください。デルがインストールしたソフトウェアのメディアはすべて、お客様のシステムにインストールされているソフトウェアの「バックアップ」コピーとしてお取り扱いいただく必要があります。同ライセンス契約の条項に同意されない場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。米国のお客様は、800-WWW-DELL (800-999-3355) にお電話ください。米国外のお客様の場合は、dell.com/support のページ左上から該当の国または地域をお選びください。

その他の情報

 **警告:** システムに付属のマニュアルで安全および認可機関に関する情報を参照してください。保証に関する情報は、この文書に含まれている場合と、別の文書として付属する場合とがあります。

- オーナーズマニュアルはシステム機能には関する情報が記載されています。システムのトラブルシューティング、およびシステムコンポーネントのインストール、または取り付け手順についても説明しています。この文書は、オンライン (dell.com/support/manuals) で入手可能です。
- 『Dell DR Series System Interoperability Guide』 (Dell DR Series システム相互運用ガイド) は、システムに対応するハードウェアおよびソフトウェアについての情報を提供します。本ガイドは、dell.com/support/manuals でオンラインでご利用いただけます。
- ラックソリューションに付属のマニュアルでは、システムをラックに取り付ける方法について説明しています (必要な場合)。
- 『Dell DR Series System Command Line Reference Guide』 (Dell DR Series システムコマンドラインリファレンスガイド) は、コマンドラインインタフェース (CLI) を使用した DR Series システムのデータバックアップ操作と複製操作の管理に関する情報を提供しています。このマニュアルは、dell.com/support/manuals から入手できます。
- 『Dell DR Series System Administrator Guide』 (Dell DR シリーズシステム管理者ガイド) は、DR Series システム GUI を使用したバックアップの管理およびレプリケーション操作に関する情報を提供しています。このマニュアルは、dell.com/support/manuals から入手できます。
- 本書で使用されている略語や頭字語の正式名については、dell.com/support/manuals で『Glossary』 (用語集) を参照してください。


 **メモ:** リリースノートには特定の製品リリースにある既知の問題に関する最新の情報が記載されているため、まず最初にお読みください。

 **メモ:** システムをアップグレードする時は、dell.com/support から最新のアップグレードパッケージをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

テクニカルサポートの利用法

本書で説明している手順がよくわからない場合や、システムの動作が予期したとおりでない場合は、お使いのシステムの『オーナーズマニュアル』を参照してください。デルでは包括的なハードウェアトレーニングと認定制度をご用意しております。詳細については、dell.com/training を参照してください。地域によっては、このサービスをご利用いただけない場合もあります。

仕様


 **メモ:** 次の仕様には、システムの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載しています。お使いのシステムの仕様を記載した完全な最新リストについては dell.com/support をご覧ください。

電源


AC 電源装置 (各電源装置ごと)

ワット数	1100 W
熱消費	最大 4100 BTU/時

電源

 **メモ:** 熱消費は電源装置のワット数定格に基づいて算出したものです。

電圧 100～240 V AC、自動選択、50/60 Hz

 **メモ:** このシステムは、線間電圧が 230 V 以下の IT 電力システムに接続できるようにも設計されています。

バッテリー

コイン型電池 3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー

物理的仕様

高さ 87.3 mm (3.44 インチ)

幅

ラックラッチあり 482.4 mm (18.98 インチ)


ラックラッチなし 444 mm (17.08 インチ)


奥行き (ベゼルを含む) 755.8 mm (29.75 インチ)

重量 (最大) 31.86 kg (70.24 ポンド)

重量 (空の状態) 18.78 kg (41.4 ポンド)

環境

 **メモ:** お使いのシステムは、フレッシュエア冷却のデータセンターで、40～45 °C の間での使用に耐えられる設計になっています。詳細については、dell.com/support/manuals で『Owner's Manual』(オーナーズマニュアル) を参照してください。

 **メモ:** 特定のシステム構成でのその他の環境条件の詳細については、dell.com/environmental_datasheets を参照してください。

温度

最大温度勾配 (稼働時および保管時) 20 °C/時 (36 °F/時)

保管温度制限 -40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)

温度 (連続稼働)

温度範囲 (高度 950 m (3117 フィート) 未満) 10～35 °C (50～95 °F)、装置への直射日光なし。

比較湿度範囲 最大露点 26 °C (78.8 °F) で 10～80% の相対湿度。

相対湿度

保管時 最大露点 33 °C (91 °F) で 5～95% の相対湿度。空気は常に非結露状態であること。

最大振動

稼働時 0.26 G_{rms} (5～350 Hz) (全稼働方向)。

環境

保管時 1.87 G_{rms} (10~500 Hz) で 15 分間 (全 6 面で検証済)。

最大衝撃

稼働時 全動作方向で z 軸の正方向に 2.6 ミリ秒で 31 G の 1 衝撃パルス

保管時 x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)、2 ミリ秒以下で 71 G。

最大高度

稼働時 3048 m (10,000 フィート)

保管時 12,000 m (39,370 フィート)


動作高度ディレーティング

最高 35 °C (95 °F) 950 m (3,117 ft) を越える高度では、最高温度は 300 m (547 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。


35~40 °C (95~104 °F) 950 m (3,117 ft) を越える高度では、最高温度は 175 m (319 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。

40~45 °C (104~113 °F) 950 m (3,117 ft) を越える高度では、最高温度は 125 m (228 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。


粒子汚染

 **メモ:** 本項では、粒子汚染およびガス汚染による IT 装置の損傷および / または故障を避けるために役立つ制限を定義します。粒子またはガス汚染のレベルが下記に指定される制限を越えており、これらがお使いの装置の損傷および / または故障の原因であると判断された場合、損傷および / または故障の原因となっている環境状態を改善する必要がある場合があります。環境状態の改善は、お客様の責任となります。


空気清浄

 **メモ:** データセンター環境のみに該当します。空気清浄要件は、事務所や工場現場などのデータセンター外での使用のために設計された IT 装置には適用されません。

データセンターの空気清浄レベルは、ISO 14644-1 の ISO クラス 8 の定義に準じて、95% 上限信頼限界です。

 **メモ:** データセンターに吸入される空気は、MERV11 または MERV13 フィルタで濾過する必要があります。

伝導性ダスト


 **メモ:** データセンターおよびデータセンター外環境の両方に該当します。

空気中に伝導性ダスト、亜鉛ウイスカ、またはその他伝導性粒子が存在しないようにする必要があります。


腐食性ダスト

- 空気中に腐食性ダストが存在しないようにする必要があります。

環境

-  **メモ:** データセンターおよびデータセンター外環境の両方に該当します。
- 空気中の残留ダストは、潮解点が相対湿度 60% 未満である必要があります。

ガス状汚染物

-  **メモ:** ≤50% 相対湿度で測定された最大腐食汚染レベル

銅クーボン腐食度

クラス G1 (ANSI/ISA71.04-1985 の定義による) に準じ、ひと月あたり 300 Å 未満。

銀クーボン腐食度

AHSRAE TC9.9 の定義に準じ、ひと月あたり 200 Å 未満。